

可児市になったら

広見小 3年 女子児童

私は、今の町が大すきです。気こうもよくしぜんも多いからです。それにみんないい人ばかりだからです。

このまえ、新聞で可児町が可児市になると書いてあったときは、とってもびっくりしました。

一つは、うれしくてびっくりしました。そしてもう一つは、少し心配でびっくりしました。

それは、可児市というと、いきなり都会のようになる気がします、そのはん面、私のすきなしぜんなどが、今よりもっときたなくてよごれてしまうのではないかと思うからです。

でも、このことは、私たち一人ひとりの小さな力で、ふせぐようにしなければならないと思うのです。

そして今、私たちのゆめである可児川でほたるを見ることが、実現しなければいけないと思います。

今よりもっともっと、住みよい美しい町にしなければいけないと思います。

こうして考えてみると、可児市は私たち一人ひとりが、きずきあげるものだと思います。

さいごに、町長さんへ私からお願いがあります。

可児市になったら、名古屋市や美濃加茂市などのまねをしないで、可児市にしかできない、そんな街づくりをしてください。

そして、可児市が可児町だったときのきれいな気持ちを、けっして忘れないで、自然をこわしてほしくないと思います。

それから、みんなの力で、どこの市にも負けないりっぱな市にしてください。私たちも、できるだけ協力したいと思います。

(昭和57年2月1日の「広報可児」に記載されたものが、「可児市史 第6巻」に掲載されていました。)